

○ H26 森の神(ブナ巨木)と素材生産事業地等見学会 ～森林と木を知るツアー～

9月10日(水)三八上北森林管理署で「森林の神(ブナ巨木)と素材生産事業地等見学会」～森林と木を知るツアー～(以下ツアーと称する)を実施しました。

このツアーは、素材生産請負現場・製材工場等加工施設の見学をとおして、森林から木の伐採し流通、加工から木材製品となって住宅へ利用されるまでの一連の流れ(川上から川下へ)を体験・見学をとおし森林の重要性、林業への理解、木材の良さを深めてもらおうと上北地域県民局地域農林水産部、上北森林組合の共催、下久保林業(株)、(有)岩木建設(モデル住宅)の協力を得て開催しました。

今年度は、現地見学箇所の状況が良いことから、昨年より募集人員を15名に増やして募集したところ、募集人員を超える応募があり、当日は、残念ながら参加できなくなった方もありましたが、三八・上北地域をはじめ津軽地域からの応募者14名の参加により開催となりました。

晴天から雨模様となる天気予報の中、開会式終了後、下久保林業(株)が実行している十和田市尻辺山77ろ2林小班の森林整備請負事業(活用型(間伐))現地でのスギ立木の伐採から素材(丸太)になるまでの一連の作業・工程を見学、伐採の方法、機械等について質問等を交換後、隣接している森林の神(ブナの巨木)のある幌内山80ろ林小班へ移動して、今年「健康優良樹」として認定されたブナの巨木や他の広葉樹を見ながら散策し午前中の部を終了しました。

昼食後は、上北地域県民局職員から「青森県産材の利用等の説明」を受け、昼食時から降りだした雨の中、上北森林組合木材加工センターで丸太から柱・板等の製品となる行程、端材等の利用などを上北森組職員からの説明を受けながら見て、製品を触り木材の感触を確かめていました。

その後、十和田市内のモデル住宅へ場所を移し、住宅を見学、岩木建設社長より木造住宅の特徴や木の良さの説明を聞き、木造住宅の良さを堪能、再確認したツアーとなりました。

このツアー開催にあたっては、関係各位のご協力により、応募して下さいました参加者皆さまが、木の良さを実感していただいたと思います。

今後も引き続き「森林・林業」について、地域の方々に理解していただくためにもPRに努めていきます。



森林の神の散策



加工センターの見学



県産材の説明



モデル住宅の見学